

1 はじめに

宇城中学校体育研究会は上村一浩会長（不知火中学校）を中心に 11 校の体育担当者 22 名で組織されており、11 校中 8 校は体育担当者が 1 名の小規模校である。

今年度、「主体的・対話的な学びを通して、『生きる力』をはぐくむ保健体育科学習の在り方」～『分かる・楽しい』授業づくり 5 つの心得』の実践を通して～の研究テーマを設定し、授業実践を中心に研究を進めた。

2 研究組織

- ・会長 上村一浩（不知火中） ・研究委員長 濱 久人（松橋中）
- ・研究委員 山田雄太郎（三角中） 今田圭哉（中央中） 井上淳一（宇土中）
- 授業研究部会（松橋・三角・不知火），○授業実践部会（小川・豊野・中央・砥用），
- 指導法研究部会（鶴城・住吉・網田・宇土）の，3 部会に分けて研究を進めた。

3 活動状況

月 日	場 所	概 要
4 月 2 2 日	不知火中学校	第 1 回教科等研 ○組織づくり，研究テーマの設定等 ○各部会の年間計画作成
7 月 2 8 日	人吉市立第二中学校	令和 5 年度熊本県中学校夏季研修会 （指導法研究部会参加） ○学習構想案検討会 ○保健体育指導法講習会「陸上競技」
1 0 月 2 5 日	松橋中学校	授業研指導案検討会 ○第 2 回教科等研授業研に向けての指導案検討
1 1 月 1 8 日	松橋中学校	第 2 回教科等研 ○公開授業 第 3 学年 「E 球技 ウ ベースボール型 「ソフトボール」 ○授業研究会 ※本授業及び授業研究会は、「令和 4 年度（2 0 2 2 年度）熊本県子供の体力向上推進委員会に係る公開授業」の授業及び授業研究会と兼ねる
1 1 月 1 8 日	御船町スポーツセンター・御船中学校	第 4 9 回熊本県中学校保健体育研究発表大会参加

4 研究テーマ

「主体的・対話的な学びを通して、『生きる力』をはぐくむ保健体育科学習の在り方」～『分かる・楽しい』授業づくり 5 つの心得』の実践を通して～

5 研究の概要

(1) 授業研究 研究授業 授業者 松橋中学校 大塚教諭

1 1 月に松橋中学校にて，単元「E 球技 ウ ベースボール型 ソフトボール」（第 3 学年）の研究授業を行った。ここでは，「『分かる・楽しい』授業づくり 5 つの心得」の中の心得 1「『何を学ぶのか』が分かる，必然性のあるめあての提示」と心得 3「めあてに沿って，『じっくり考え，はっきり表現』させる場の設定」に焦点を当てて授業実践を行った。

心得1 「『何を学ぶのか』が分かる、必然性のあるめあての提示」では、単元を通した学習課題の解決に向けた本時のめあてを明確にし、視覚的に提示するために、前時の様子や振り返りの言葉から課題を見つけ、何がどのようにできればいいのかが明確に分かるようにめあてを設定した。本時では、「捕球場所に最短距離で移動して相手の打ったボールを捕ることができる。」の目標のもと、生徒のこれまでの様子を見て、「外野に抜けないようにボールをとろう」というめあてを生徒に提示した。本単元では、生徒が単元を通して使用するワークシートに単元計画を示し、常に見通しをもって学習を進められるようにするとともに、振り返りの記入において、ねらいに応じた振り返りを行うように声掛けを行うなどして、本時で何を学ぶのかを意識させて授業を展開するようにした。また、視覚的にもめあてを意識できるよう、めあての掲示ボードも工夫した。掲示ボードにはこれまでの学びの足跡等もあわせて提示するようにした。



めあて等の提示の様子

心得3 「めあてに沿って、『じっくり考え、はっきり表現』させる場の設定」では、何を学ぶかが分かるような具体的な発問にするために、チームで解決するための仲間との対話の場面を設定し、活動の中でめあてに沿った課題が解決できない状況をつくり、「なぜ」「どのように」という言葉を使って問いかけをするようにした。本時では、導入時に設定しているスキルアップトレーニングの中から、本時のめあてに沿う「スローイングノック」の種目に取り組みせ、その活動を通して自分たちの課題を見出すようにした。その後、外野に抜けないようにするためにどういう動きをすればよいか、各チームで意見を出し合いながら練習やミニゲームを行った。その際、「なぜ外野に抜けるのか」「どのようにしたら抜けなくなるか」という問いかけを行いながら、めあてに沿って活動させるようにした。



めあてを意識しながらのチーム練習

授業研究会では、他の参観者から肯定的な意見が多かった。授業者からも、今回の工夫により、苦手な子ども達もお互いにチームで協力しあい、主体的に動くようになったと評していた。一方、めあての設定の仕方は妥当であったか等の意見も出た。また、その他として、授業を進める上での指導技術、ICT 活用例、評価作成の話題も出た。さらに体力向上の視点に立った話合いも行い、とても有意義な時間になった。

6 研究の成果・まとめ

宇城で取り組んでいる『分かる・楽しい』授業づくり5つの心得の実践を意識した授業づくりについて、多くの先生方の知識や経験を出し合い、より効果的なものへと高め合う時間を持つことができたのが今回の大きな成果だった。この研究により、さらに各々の授業力・指導力が向上し、子ども達の「生きる力」の育成に繋げることができたのではないかとと思われる。今後も、宇城中学校体育研究会全体で力を合わせ、保健体育科学習の在り方について研究を進めていきたい。